

新聞記者から見た魅力ある研究成果発表とは

(講演者) 日本経済新聞社 編集局科学技術部長 矢野 寿彦

(開催趣旨)

科学コミュニケーションという言葉が近年はよく耳にするようになったが、研究機関も一方的な情報発信から社会的理解の獲得へと発表内容の変化を求められてきている。しかし、研究者や技術者の言葉だけでは社会への発信力や内容の理解には不十分である。一方、インターネットの発達した現代においても科学ジャーナリストなどマスメディアの専門家を通じた情報発信は、社会的インパクトも大きく、そこで取り上げてもらうことが成果の重要性を示す、事実上の尺度にもなっている。

今回は、マスメディアの専門家として矢野寿彦氏をお招きして、報道機関側から見たサイエンスやテクノロジー成果への興味・関心の置き方、捉え方、魅力的な研究成果発表やプレスリリースとは何かを軸に、プレスリリースを行う研究者・研究機関に向けての資料作りのアドバイス、さらに研究機関への要望などを含めてご講演していただき、今後の発表の参考とするためのセミナーとしたい。

以上